

「四国の森づくり in 愛媛 2018」と「四国山の日賞表彰式」が開催されました

平成 30 年 11 月 3 日

四国森林管理局技術普及課

- 1 11月3日、松山市のにぎたつ会館で「四国の森づくり in 愛媛 2018」と「四国山の日賞表彰式」が開催されました。森林・林業関係者、市民団体、大学・高校、県など約60名の皆様が参加しました。
- 2 「四国山の日賞」は、平成16年の四国4県の知事と四国森林管理局長が締結した「四国の森づくりに関する共同宣言」を契機に創設され、毎年11月11日の「四国山の日」にあわせて開催される四国の森づくり大会で、四国の森づくり活動に積極的に取り組んでいる団体・個人を表彰しています。今年度は、①JF香川県漁協青壮年部連絡協議会（高松市）、②（株）那賀ウッド（徳島県那賀町）、③「Wood Action Tokushima」（徳島県徳島市）、④愛媛県立上浮穴（かみうけな）高等学校 森林環境科農業クラブ カホンプロジェクトチーム（愛媛県久万高原町）、⑤山本 貴仁氏（愛媛県西条市）、⑥情報交流館ネットワーク（高知県香美市）の四国4県の6団体・個人の皆様が受賞されました。
- 3 大会では、冒頭、野津山四国森林管理局長から「四国の森づくり in 愛媛 2018」と「四国山の日賞表彰」を通じて、多くの国民・県民の皆様が森の役割や大切さに思いを寄せ、森を守り育てる活動が広がることを期待していますとの祝辞等があり、その後、四国山の日賞の表彰式が行われました。表彰式の後、上浮穴高校森林環境科の生徒の皆さんによる木製楽器カホンを使ったリズムカルで賑やかな演奏が披露されました。3年生の生徒さんは、今回の受賞の喜びとともに、後輩達が活動を継続し更に発展させてほしいと感想を述べていました。
- 4 講演会では、①国民森林会議会長の藤森隆郎氏（テーマ：「森づくりの目指す道～森林生態系の機能と調和的発揮～」）、②上浮穴高校校長の藻利明久氏（テーマ：「地域林業を担う人材の育成を目指して～上浮穴高校森林環境科の取組～」）の講演がありました。藤森先生からは、

森林の発達段階に応じた生物多様性、水源涵養、表層土壌有機物量等の機能の変化を示しながら、生産林と環境林の機能区分ごとに目標林形を設定し、地域ごとの森林生態系の機能が調和して発揮されるように「持続可能な森林管理」を行っていくことが重要との話がありました。藻利校長先生からは、地方の高校の定員割れのリスクの中で、①地域と連携した学校づくり、②個別指導の徹底、③地域プロジェクト、ドイツ林業研修等による森林環境科の学習内容の魅力化と地域への普及、④中高連携による林業への就業促進など、地域と一体となった学校の魅力づくりの取組の話がありました。ドイツ林業研修で視察したドイツ林業の紹介もありました。翌11月4日には、松野町と鬼北町でシカ被害対策とジビエ活用の現地研修が行われました。

平成30年度「四国山の日賞」受賞者

部 門	受賞者
1 森林整備	「JF 香川県漁協青壮年部連絡協議会」(香川県高松市) ～漁業者が豊かな海を守るための森林整備活動を展開～
2 木材利用	「株式会社 那賀ウッド」(徳島県那賀町) ～地域未利用材の木粉を活用した多様な木製品づくりと木育活動を展開～
3 森林環境教育	「Wood Action Tokushima」(徳島県徳島市) ～幅広い分野の若手木づかい関係者が多様な木育活動を展開～
	「愛媛県立上浮穴(かみうけな)高等学校 森林環境科農業クラブ カホンプロジェクトチーム」(愛媛県久万高原町) ～地域材を利用した木製楽器「カホン」の製作と演奏を通じた木育活動を展開～
	「山本 貴仁(たかひと)氏」(愛媛県西条市) ～十数年に渡り植物・昆虫観察会など息の長い森林・自然環境教育活動を展開～
	「情報交流館ネットワーク」(高知県香美市) ～多様なプログラムによる森林環境教育と森林ボランティア養成活動を展開～

四国の森づくりin愛媛2018

(H30.11.3～4)



野津山四国森林管理局長の祝辞



四国山の日賞の表彰式



上浮穴高等学校生徒によるカホン演奏



四国山の日賞の受賞者



国民森林会議会長 藤森隆郎氏の講演



上浮穴高等学校長 藻利明久氏の講演